

# 「変わらない寄り添い」「新しいコミュニティ形成のお手伝い」 「協働・学びで次世代へつなぐ」

東日本大震災から8年半。宮城県名取市閑上(ゆりあげ)地区では、復興公営住宅や新しい家での暮らしが始まり2019年5月にはまちびらきイベントが行われるなど、嬉しいこともある反面、コミュニティづくりをどうするかという課題があります。一方で、“住民の皆さんの自らの復興を妨げない”支援のあり方とは何かを考え続けています。寄り添いの活動を継続しながら、新しい環境での住民さん同士の交流のお手伝いや、地元支援団体や他大学の皆さんと共に力を合わせ、学びながら、次につながる活動を行っています。

## 住民交流会(閑上)



## 交流・つながりの きっかけ作りを お手伝い



## 閑上まちびらきイベント



## 町内会夏祭り



## 継続した 「寄り添い」の活動

閑上の復興公営住宅や新しい集会所において、住民の皆さん自身による新しい町づくりが進んでいます。支援のあり方やボランティアの関わり方が変化する中で、まだまだたくさんの力やアイディアが求められることも・・・



## 協働と学び合いで つながる

## 学びを伝え 次につなげる

## 全国・県内の大学・高校との 合同ボランティア・学習会

今、私たち大学生にできることは何・・・？

次へと活かせることは何・・・？

活動報告はこちら！

尚綱学院大学HP  
TASKI Facebookページ  
Twitter アカウント

<http://www.shokei.jp/institution/extension/volunteer/>  
<https://www.facebook.com/shokei.volunteer.station/>  
[https://twitter.com/TASKI\\_SHOKEI](https://twitter.com/TASKI_SHOKEI)



2011	学生自ら被災地へ赴き「名取市災害ボランティアセンター」のスタッフとして、閉所される8月まで支援活動を行う。その後、名取市内の仮設住宅へ支援へ。	とにかくできることを！
2012	チーム「TASKI」誕生 名取市内の仮設住宅集会所での体操や歌、学生主催のイベント活動(クリスマス・ひな祭り等)で交流。楽しい時間を提供。	なんとか元気になっほしい！
2013	仮設住宅支援の継続。おしるこ、書き初め、焼芋などのイベント活動だけではなく、畑作業、花壇づくりなど短時間でも回数を重ねた訪問で交流を続ける。	一人にならないで！
2014	学生主催のイベント活動だけではなく、仮設自治会の祭支援など、より“支える”を意識した活動を実施。住民さん自らが活躍できるような場づくりへ。	笑顔になっほしい！
2015	ひとつひとつの仮設を支援するだけでなく、仮設間交流の場を設定するなど、コミュニティ形成への支援活動を実施。	夢を力に！
2016	仮設住宅から復興公営住宅へ住環境の変化に伴う被災地の課題に取り組む。“寄り添い”の大切さをチームで再確認し、長期的視野に立った支援へ。	新しいふるさとへ・・・
2017	自治会や他の支援者と協働しながら、住民の皆さんの“自らの復興”を支援。一方で震災を伝えるための学び直しや、他大学のサポートも行っていく。	つなげる つたえる つづける
2018	これまでの“寄り添い”支援を継続しながら、被災地の新しい町づくりを応援する。活動経験を活かし、次世代や他地域につないでいく。	まだまだ続・・・



## これまでの仮設住宅支援活動を通して 見えてきた状況から、わたしたちができることは何か。

2011年3月11日に発生した東日本大震災については、これまでニュースや新聞でたくさん報道されてきました。ご存知のとおり、宮城県名取市閑上(ゆりあげ)は被害の大きい場所のひとつでした。

また、震災前の写真を見るとたくさんの家並みや、穏やかな風の海の様子など、環境、状況は違っても、皆さんが住んでいるところと何も変わらない、**たくさんの人々の営みがそこにあった**こともわかります。

名取市では5月に閑上まちびらきがおこなわれ、**住民の皆さんの新しい住まいでの生活が始まりました**。いうまでもなく復興公営住宅は、“仮設”つまり“仮の住まい”ではなく、これからずっと住み続ける“自分の家”ということです。

被災された住民の皆さんは、震災直後は体育館などでの避難生活をし、その後、長い方は**6年以上もの間、仮設住宅で生活されてきました**。**住民の皆さんの中には、辛い時期を一緒に乗り切ろうと、お互いに声をかけあい、励まし合いながら暮らされている方もいました**。尚綱学院大学の学生たちも、そのような交流の場をつくるための支援を続けてきました。

さて、ようやく始まった新しく、広く、きれいな自分の住まいである復興公営住宅などでの暮らし。しかし、名取市では一部を除き、集団移転(同じ町の住民さんをそのまま同じ地区に移転させること)ではなく、抽選によって住む場所が決定しました。お隣さんを決めることはできません。

### もう一度、ゼロからのコミュニティづくりが始まったのです。

さらに、高齢者率も高く、実際に、復興公営住宅に移ったとたんに、家から出なくなってしまう方、体調を崩された方、亡くなってしまった方もいらっしゃいました。一方で住民の皆さんで町内会を結成し、新しいふるさとづくりを始めようと力を尽くしている方々もいらっしゃいます。

**このような状況が見えてきた中で、私たち大学生にできることは何かを考え、活動を続けています。**

活動報告はこちら！	尚綱学院大学HP TASKI Facebookページ Twitter アカウント	<a href="http://www.shokei.jp/institution/extension/volunteer/">http://www.shokei.jp/institution/extension/volunteer/</a> <a href="https://www.facebook.com/shokei.volunteer.station/">https://www.facebook.com/shokei.volunteer.station/</a> <a href="https://twitter.com/TASKI_SHOKEI">https://twitter.com/TASKI_SHOKEI</a>
-----------	--	---